

南区ウォーク&トーク事業について



南区ウォーク&トーク実行委員会
(NPO 法人グリーンシティ福岡、南区企画振興課)

1 南区における共働のきっかけ・必要性

●それまでの課題

南区は、那珂川やため池、鴻巣山など様々な自然環境に恵まれた土地であり、ひよこや黒棒などスイーツの名店も多い。この魅力を広く区民に紹介していくことが、今後のまちづくりの重要課題となっている。

しかし、そのために区が行ってきた事業（「南区魅力めぐり事業」、「那珂川川下り大会」など）は一過性のイベントとなっており、参加人数の制限や、新しい魅力の情報収集手段、新しい手法導入のノウハウ不足が課題となっていた。

●共働のきっかけ

2014年2月の「共働カフェ」での出会いにより共働事業の実施を検討。お互いの強みを活かすことで、より効果的な事業展開が可能であるとの結論に達した。

●市担当課はなぜこの事業に取り組むことにしたのか

共働事業を実施することで、NPOの柔軟性とノウハウを活かし、新たな魅力発信の手法を得るとともに、この経験を今後の市の施策に活かすことができると考えたため。

2 事業目的

歩いた後に対話して、参加者同士で楽しさ・土地の魅力を分かち合う「ウォーク&トーク」の手法を用い、自然・街並み・神社などの風景、人物、美味しい食など、今まで知られていなかった区の魅力を区民に伝える。

また、この手法を使って自ら区内の魅力を再発見したり、他の人に伝えたりすることで、地域に誇りと愛着を持つ住民を増やすことを目的とする。

3 事業目標

- ① **ウォーク&トーク**…「ウォーク&トーク[※]」手法を用いたイベントを通して区の知られざる魅力を広く紹介すること
区で活動している団体を主な対象として、ウォーク&トークの手法を伝えること
※疲れにくい歩き方の指導、安全管理の持ち物や手法、アイスブレイクゲームによる自己紹介、簡易なインタープリテーション手法、ふりかえりのためのファシリテーション手法などを組み合わせ、「ウォーク&トーク」と呼んでいます。
- ② **マニュアル作成**…ウォーク&トークの手法を継続して普及していくこと

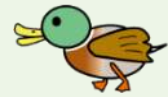
4 事業内容

●ウォーク&トーク（ウォーキングイベント・本年度4回実施予定）

区内で既に活動している方々を主な対象にし、ウォーク&トークの手法を使ったウォーキングイベントを実施。ウォーク&トークを実際に体験してもらいながら、区の自然や街並みの他、地場のスイーツやカフェなど区からは今まで紹介してこなかった魅力についても案内。ウォーキング後は、それぞれが見つけた魅力、土地の歴史などを語り合った。

また、今まで別々に活動していた団体同士の交流も促し、互いの知識やノウハウを共有することで南区の魅力を再発見できる内容とした。さらに、進行役としてNPOのメンバーでもある福島（公認ウォーキング指導員／西日本新聞「あるこ！」連載）、志賀（ファシリテータ／森林セラピスト）という専門性を活かした人選を行い、より効果的な事業を目指した。

○第1回南区ウォーク&トーク～鴻巣山編～



開催日時：平成 27 年 5 月 26 日（火）10 時～13 時

コース：高宮駅～高宮八幡宮～高宮浄水場～鴻巣山特別緑地保全地区（4km 程度）

参加人数：20 名



左から、「高宮八幡宮を散策」、
「平和南緑地展望台からの景色」、
「鴻巣山の緑を紹介」、「鴻巣山のゴールでトークタイム」

○第2回南区ウォーク&トーク～野多目編～

開催日時：平成 27 年 6 月 13 日（土）10 時～13 時

コース：野多目中公園～照天神社～野多目大池～野多目中公園（5km 程度）

参加人数：21 名

お時間あるの？
お手洗いはどう？



左から、「二股大根の絵馬が有名な照天神社」、
「神社から野多目大池へつながる道」、
「いたるところにため池が」、「公園で振り返りのトークタイム」

○第3回南区ウォーク&トーク～長住・花畑編～（平成 27 年 11 月 10 日実施予定）

○第4回南区ウォーク&トーク～大橋・高宮編～（平成 28 年 2 月頃実施予定）

●マニュアルの作成（年度末完成予定）

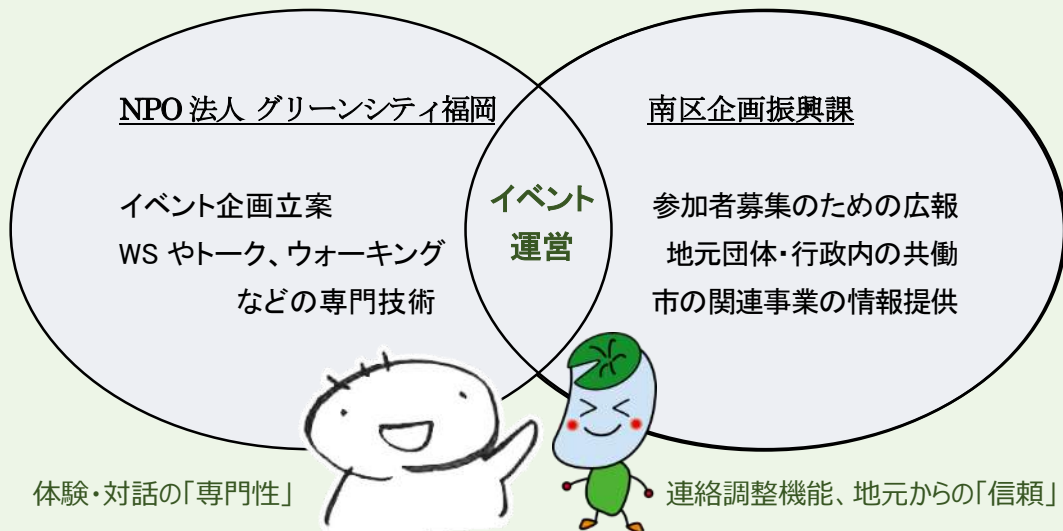
ウォーク&トークの手法をわかりやすく伝えるマニュアルを作成し、暫定版を上記イベントの参加者に配布。

実際に使用した声を取り入れながらブラッシュアップし、年度末の完成を目指している。



5 NPOと市の役割分担

● NPOと市の具体的な役割分担について



6 共働事業のメリット・成果

● 双方の特性を發揮し共働することで実現した具体事例

・質の高いウォーキングイベントの開催

… **グリーンシティ福岡**の持つワークショップやトーク、ウォーキングなどの**専門性の高いノウハウ**を活用

・幅広い情報収集や広報活動の実施

… **区役所**の持つ**調整能力**や**広報手段**を活かし、区の他課・公民館などからの情報収集や、地域で活動しているウォーキング団体への参加呼びかけを実施

● 実施事業の効果

・ウォーキングサークルに限らず、区内7つ以上の団体から参加があり、今後の活発な企画実施が期待できる。

・参加者アンケートでは、回答者の**8割以上の方が企画内容に満足**と回答。

「（ウォーク&トークの手法を）我々のウォーキングにも取り入れてみたい」との声があった。

・3カ月後に実施した追跡アンケートでは、**9割以上の方が、新しく知った区の魅力を他の人に話した**と回答。

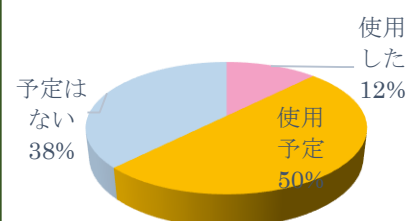
「南区は、まだまだ未知なる所が多い」、「歩きながら発見することの楽しさを友達にも体験してほしい」、「幻のお店などの情報が欲しい」との声があった。

・**6割の方がマニュアルをすでに使用したか使用予定**があると回答。

「歩く場所の歴史などを事前に参加者に伝えることで、より興味を持ってもらえるのでは」、「参加者の年代別の注意点を記載してほしい」など、内容の提案もあった。

・この企画で**知り合った仲間と一緒に企画実施**の予定がある方もいた。

マニュアルをすでに使用、または使用する予定があるか



→ ウォーク&トークの手法を伝えながら、新しい区の魅力も紹介することができた。

→ 知った魅力を他の人に伝える・マニュアルを使用するなど、今後の継続につながる動きも出てきている。

7 共働するうえで苦労した点・工夫した点

● 双方が「顔を合わせる」「直接話す」ことで信頼を構築

仕組みや風土が大きく違う行政と NPO が共働するため、まずは価値観のすり合わせに力を入れた。事業開始前から打ち合わせを数多く設け、事業目的・内容の共有、協定書の作成を行った。

● 短時間で密度の濃い協議を実施

事業開始後は毎月 1 回以上の定例会議を実施。情報や連絡事項は事前に共有し、限られた時間を有効に協議に使えるような工夫を行っている。議事録は毎回区が作成し、双方で共有している。

8 担当者の声・市民の声

● 担当者の感想や意見、うれしかったこと・苦労したこと・成長できたこと

【南区】

- ・行政職員だけでは知りえなかった、ウォーキング企画立案のための最新のノウハウを得ることができた。
- ・道中で見つけた動植物について、豊富な知識からの解説があり、専門家の強みを感じた。
- ・打ち合わせの際、ウォーキング以外にも使える様々な新しい手法・アイデアに触れることができた。
- ・共通の目的に向かって別組織のメンバーと力を合わせて進んでいく経験が新鮮だった。
- ・お互いの強みを活かそうと考えることで、相手の強みだけでなく行政の強みについても深く考えるきっかけとなった。

【NPO 法人 グリーンシティ福岡】

- ・イベントの対象であるシニア層に的確に周知することができた。
- ・公民館やウォーキングサークルとのつながりができたことで、その中から、新しくグリーンシティ福岡の活動へ参加する方がうまれた。

● 参加者や受益者、関係者の声など（参加者アンケートから）

- ・久しぶりに歩いて、とても気持ちよく、楽しい時間を過ごすことができた。感謝。
- ・他の校区の方たちともお話ができてよかった。
- ・緑の多さ、自然のあまり手を加えていない樹木に感動した。
- ・いつも車で通る道でしたけど、新発見ができて楽しかったです。



9 28年度への展開

● 必ずしも共働事業という形では継続せず

来年度は、今年度末完成予定のマニュアルを普及させることで区民の自発的なイベント開催を促し、地域に誇りと愛着を持つ住民を増やしていくことが重要な目的になると考えている。

今後は、必ずしも共働事業として継続する必要はないが、それぞれの強みを活かしてマニュアルの普及に努めていきたい。

具体的な普及手段については、来年度に向けて双方一緒に検討中。

